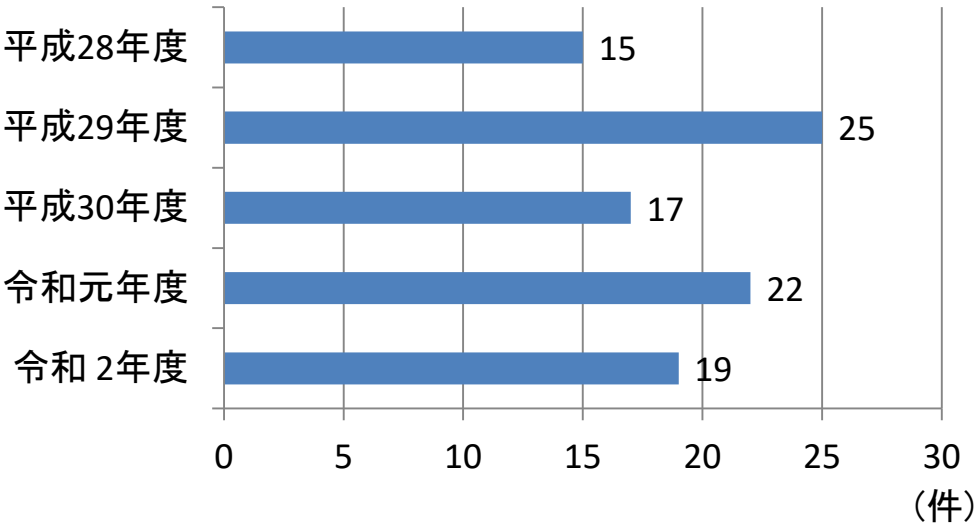


17 新生児のうち、出生時体重が1,500g 未満の数

解説	出生体重が1,500g 未満の新生児を極低出生体重児と言い,NICUでの呼吸・循環を含めた全身管理,人工呼吸器や経静脈栄養・経管栄養などの,特別な治療が必要となります。高度な設備と技術力のあるスタッフを24時間体制で配置する必要があり,極めて重症度の高い周産期の患者を受け入れていることを表します。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	平成28年度	15	平成29年度	25	平成30年度	17	令和元年度	22	令和2年度	19
年度	件数												
平成28年度	15												
平成29年度	25												
平成30年度	17												
令和元年度	22												
令和2年度	19												
定義	自院における出生時体重が1,500g未満新生児の出生数です。死産は除きます。												